

ひがりの都

2017年
5月発行



院長就任のご挨拶

院長 加藤 順一



平成29年4月より横山和正前院長より引き継ぎ、リハビリテーション西播磨病院長に就任いたしました。ここに誌面を借りてご挨拶申し上げます。西播磨病院は平成18年の開設以来、今年で11年目を迎え、リハビリ医療に特化した県立のリハビリ専門病院として西播磨や中播磨圏域を中心に利用者さまが毎年着実に増え、地域とともに歩み成長するリハビリ専門病院という運営理念に従って発展して参りました。

私が考える病院のあり方について述べてみたいと思います。(Ⅰ)利用者さまが満足する病院、(Ⅱ)職員がやりがいを感じる病院、および(Ⅲ)質の高いリハビリ医療の提供の3点を掲げたいと思います。(Ⅰ)については、安心・安全で利用者本位のリハビリチーム医療の提供を目指すことで、これまで同様に最大限の努力を払うとともに今後も継続する必要があると思います。(Ⅱ)については、医療サービスの提供側である病院職員自体が疲弊し不満を抱いては、良質な医療は施せないと考えます。「人」は、「人」によって支えられ、お互いに成長していきます。「地域医療」では数多くの課題がありますが、人を惹きつけるような魅力ある病院造りが大切なのではないかと感じています。(Ⅲ)については、情報が蔓延化している今日において、他のリハビリ提供病院と差別化を図るためにも質の高い先進的なリハビリ医療を提供する必要があります。公的病院だからこそ出来るようなリハビリ医療を模索しつつ、さらに充実した地域医療が提供出来るよう、西播磨病院利用者の皆さまの期待に応えるべく、職員と共に力を合わせて努力していきたいと思いますので、地域の皆さまからのますますのご支援をお願い申し上げます。

病院機能評価を受審し、認定病院となりました

当院は、公益財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価における「書類審査」及び「訪問審査」の結果、リハビリテーション病院機能（本体審査）及び回復期リハビリテーション機能（付加機能審査）において、機構の定める認定基準を達成していることが認められ、2017年3月3日付けで認定証が交付されました。

評価の結果、明らかになった課題等については、速やかに改善を図るとともに、認定病院として、今後も患者さんから信頼を得る医療サービスの提供に努めて参ります。



①病院機能評価 3rdG: Ver.1.1
(機能種別: リハビリテーション病院)



②付加機能評価
(リハビリテーション機能
(回復期) Ver.3.0)

普段着の私

リハビリ療法部 次長 石谷 典子

恨めしい“振袖（二の腕のたるみ）”や“浮き輪（3段腹）”対策として、テニスを始めました。夢は大きく、昔流行った漫画の登場人物“お蝶夫人”のように、長い髪をなびかせて優雅にラケットを振る、そして時には錦織圭選手のように“エアケイ”を打ち込む、そんな姿を思い描いてコートに立ちました。でもいざやってみると、ボールはかすんで見えない、足はついてこない、すぐに息切れがするなど、想像以上に残念な現実が待っていました。それでも気持ちだけは負けまいと必死にあがく姿は、何とも不恰好で我ながら苦笑してしまいます。先日、無謀にも憧れの“エアケイ”に挑戦してみた結果、ボールに見放された挙句、滑稽な姿だけが露わとなり、コートは爆笑の渦に包まれました。果たして、私の思い描くテニスが出来る日はやってくるのでしょうか…。ところで、このような状況でも、肝心のダイエット効果は期待できますよね？（ーー）!!



看護部 藤原 祐介

最近、ギャンブル依存症について、テレビなどで放送されているのを良く見ます。私も、休みの日はよくパチンコに行く事があり、依存症にならないか心配する事もあります。学生の頃から友達と朝から並んでパチンコに行っていたのを思い出します。昔に比べて大きく勝つことは無くなりましたが、大きく負けることも無くなりました。マカオに旅行に行った時は、徹夜してカジノで遊んだこともあります。

最近では、カジノ法案が成立し、もしかしたら大阪にカジノができるかとニュースで見た時はぜひ行ってみたいと思いました。これから楽しみです。あまりのめり込まないように楽しんでいきたいです。また、カジノに行きたいな・・・。



“おんせん”と“うまいもん”でおもてなし
特別会席プラン
平日1泊2食 1室2名様利用
大人お一人様(60歳以上の方) **12,670円** (税込)
その他、いろいろなプランがございます。
詳しくはHPをご覧ください!

浜坂温泉保養荘

☎(0796)82-3645

〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775

<http://www.hamasaka-ni.com/>



露天風呂
ぜひ使いたい
あります

新任・転入職員のご紹介（順不同）

当院に新しく着任したスタッフを紹介します。皆様よろしくお願い致します。

●業務部

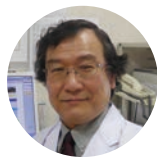
【主事（管理局長）】



田村 賢一（新任）
但馬長寿の郷、県立こども病院での勤務経験を活かし、利用者の皆様から愛され信頼される施設づくり、スタッフの笑顔が溢れる明るい職場づくりをさらに進めたいと思います。

●診療部

【医師（神経内科部長兼栄養指導室長）】



水田 英二（新任）
西播磨病院が日本中に知られるように頑張ります。

●看護部

【看護師】



池田 忠輔（新任）
早く一人前になれるよう全力で頑張ります。



松野 美和（新任）
昨年の9月末から東病棟に勤務しています。まだまだ分からない事ばかりですが、先輩方に助けてもらいながら毎日頑張っています。よろしくお願いします。



小久保 祥子（新任）
慣れないことも多くご迷惑をおかけすると思いますが、頑張りますのでよろしくお願い致します。



福田 真由（新任）
自分の持ち味を活かして、心機一転頑張りたいです。



保田 あゆみ（新任）
患者様やご家族の気持ちに寄り添える看護師になれるよう頑張ります。



山崎 友梨香（新任）
笑顔で頑張りますのでよろしくお願い致します。



山本 周平（新任）
早く一人前の看護師になれるように頑張ります。よろしくお願いします。

●リハビリ療法部

【作業療法士】



小泉 芳輝（新任）
早く業務に慣れて、患者様の役に立てるよう頑張ります。



野口 祐里（新任）
福岡県から来ました。元気いっぱい頑張りますので、よろしくお願いします。

【理学療法士】



齋藤 実（新任）
西播磨に住み、この地域の一員として社会に貢献できるよう、がんばります。

●薬剤部

【薬剤師】



丸山 優希（転入）
中央病院から異動してまいりました。患者さんのためになるよう頑張っていきますのでよろしくお願いします。

●放射線科

【放射線技師（主任放射線技師）】



吉野 慎吾（転入）
リハビリ中央病院から参りました吉野と申します。早く、こちらの環境に慣れ、皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

西播磨総合リハビリテーションセンター 福祉用具展示ホール



見て、触れて、試して
常時750点以上を展示。
様々な相談に応じています。
お気軽にご相談ください。



※ 販売は行っておりません。

- 開館日：祝日・年末年始を除く毎日
- 開館時間：午前9:00～午後5:30
- 相談受付：月曜日～金曜日

西播磨総合リハビリテーションセンター 福祉用具展示ホール

〒679-5165 兵庫県たつの市新宮町光都1丁目7番地1号
【TEL】0791-58-1050 【FAX】0791-58-1070
【e-mail】hrn_complaza@hwc.or.jp
【URL】http://www.hwc.or.jp/nishiharima/seminar_exchange



R I 検査について

医師は患者さんの容体や現状を知るために、病状を聴いたり、体の動き等を診たり、患部に触れたり、また外から視えない体内の状態を血液検査や放射線検査等を行うことによって把握します。

今回紹介するR I検査は、体の内側を視るための検査になります。（図1）
体内を視るならレントゲン検査でいいじゃないかと思うかもしれませんが、検査によって特徴があります。例えばレントゲン検査で胸部を撮影すると、肺や腹部に囲まれた心臓が写ります。レントゲン検査では心臓の形は分かりますが、心臓の機能（働き具合）までを知ることは出来ません。R I検査は、臓器の機能（働き具合）を知ることが出来る検査になります。

では、どのようにして臓器の機能を知なのかというと、放射性医薬品という薬を使用します。

放射性医薬品とは、微量な放射線（ガンマ線）を出す放射性同位元素（Radio Isotope：ラジオアイソトープ）をくっつけた薬になります。なぜ薬に放射線を出すものをわざわざつけるのかというと、投与（注射や服薬）した薬が目的の臓器にたどり着いて、その臓器がどのぐらい機能しているのかを薬の集まり具合（分布）で判断するのですが、普通の薬では、体外から薬の集まり具合を評価（計測）することができません。そこで、人体を通り抜ける放射線を利用して、薬から出るガンマ線をガンマカメラという機器で受け取り、薬の集まり具合を評価します。（図2）

ここで気になる事、不安になる事が頭に浮かんでいるかと思います。本当に放射線が出る薬を体内に投与して大丈夫なのか、体に悪影響はないのか、ということです。

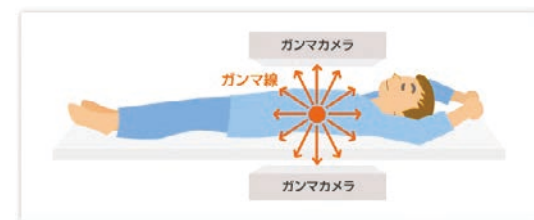
放射性医薬品の放射能は微量で、時間とともに少なくなる性質をもっています。また一部は体内で代謝されて体外へ排出されるため安全です。

副作用の発現はごくまれで、あったとしても、その大部分が軽度のものです。

また、患者さんの受ける放射線の量は通常のレントゲン検査と比べても、決して高いものではありません。（図3）

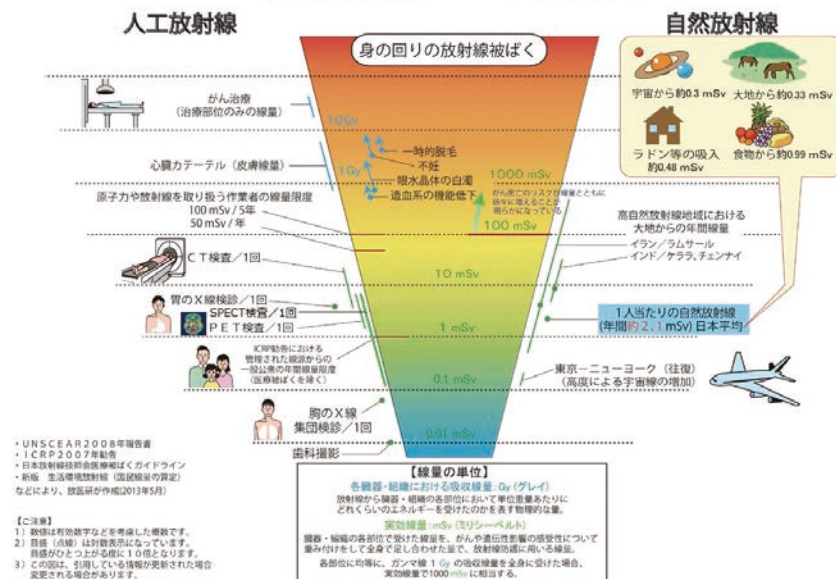


（図1）



（図2）

放射線被ばくの早見図



（図3）

繰り返しになりますが、R I検査を受ける利点としては、臓器の機能を評価できる点にあります。診断や治療方法等を決めるために現状の情報がないと、正しい診断や治療方法等の選択ができません。

人体に影響がでない量の放射線を気にするよりも、検査を受けて最善の選択が出来る未来を考えて検査に臨んでいただけると幸いです。

検査を受けるにあたって不安がある人は、病院スタッフに声をおかけください。医師、看護師、放射線技師から安心して検査を受けていただけるように説明等を致します。